



## CHAPTER 8

# 電話機の削除

一連の電話機およびその他の IP テレフォニー デバイスを Cisco Unified Communications Manager データベースから削除するには、ここで説明する手順を実行します。

次の方法を使用して既存の電話機レコードを検索できます。

- 「クエリーを使用した電話機の削除」(P.8-1)
- 「カスタム ファイルを使用した電話機の削除」(P.8-3)
- 「未定義の電話番号の削除」(P.8-4)

## クエリーを使用した電話機の削除

電話機レコードを検索するためのクエリーを作成して電話機を削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話の削除 (Delete Phones)] > [クエリー (Query)] の順に選択します。
- [電話の削除 (カスタム) (Delete Phones Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 最初の [検索対象: 電話、検索条件:(Find Phone where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。
- [デバイス名 (Device Name)]
  - [説明 (Description)]
  - [電話番号 (Directory Number)]
  - [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]
  - [デバイスプール (Device Pool)]
  - [デバイスタイプ (Device Type)]
  - [コールピックアップグループ (Call Pickup Group)]
  - [LSC ステータス (LSC Status)]
  - [認証文字列 (Authentication String)]
  - [デバイスプロトコル (Device Protocol)]
  - [セキュリティプロファイル (Security Profile)]
  - [未定義の DN(Unassigned DN)]

2 番目の [ 検索対象 : 電話、検索条件 :(Find Phone where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [ が次の文字列で始まる (begins with)]
- [ が次の文字列を含む (contains)]
- [ が次の文字列と等しい (is exactly)]
- [ が次の文字列で終わる (ends with)]
- [ が空である (is empty)]
- [ が空ではない (is not empty)]

**ステップ 3** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**ヒント** データベースに登録されているすべての電話機を検索するには、検索テキストを入力せずに [ 検索 (Find)] をクリックします。

**ステップ 4** クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、[ 絞り込み (Search Within Results)] チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから [AND] または [OR] を選択して、ステップ 2 ~ 3 を繰り返します。

**ステップ 5** [ 検索 (Find)] をクリックします。

検索された電話機のリストが、次の項目別に表示されます。

- [ デバイス名 (Device Name)]
- [ 説明 (Description)]
- [ デバイスプール (Device Pool)]
- [ デバイスプロトコル (Device Protocol)]
- [ ステータス (Status)]
- [ IP アドレス (IP Address)]

**ステップ 6** [ ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 7** 電話機レコードを即座に削除するには、[ 今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。電話機レコードを後で削除するには、[ 後で実行 (Run Later)] をクリックします。

**ステップ 8** [ 送信 (Submit)] をクリックして、電話機レコードを削除するジョブを作成します。



**(注)** ジョブを送信する前に、表示された結果のリストを全部確認してください。

**ステップ 9** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[ ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウを使用します。

ジョブの詳細については、[第 79 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、「[BAT ログ ファイル](#)」(P.80-3) を参照してください。



**注意**

クエリー テキストボックスに情報を何も入力しないと、すべての電話機レコードが削除されます。削除は最終的な操作なので、削除したレコードは復元できません。

### 追加情報

「関連項目」(P.8-5) を参照してください。

## カスタム ファイルを使用した電話機の削除

テキスト エディタを使用して、削除する電話機のカスタム ファイルを作成することができます。同一のカスタム ファイルの中に、MAC アドレスとデバイス名の両方を含めることができますが、電話番号は同じファイルに入れることはできません。複数のファイルを作成する必要があります。1 つのファイルには、デバイス名と MAC アドレスを含め、もう 1 つのファイルには電話番号を含めます。

### 始める前に

1. 削除する電話機について次の詳細のいずれかを記載するテキスト ファイルを作成します。
  - デバイス名
  - 説明
  - 電話番号
2. テキスト ファイルで 1 行に 1 項目ずつ配置します。
3. カスタム ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバにアップロードします。ファイルのアップロードの詳細については、「ファイルのアップロード」(P.2-3) を参照してください。

カスタム ファイルに記載されている電話機を削除する手順は、次のとおりです。



**(注)** 削除トランザクション用に bat.xlt として作成したトランザクション ファイルを挿入またはエクスポートしないでください。代わりに、削除が必要な電話機レコードの詳細情報が設定されたカスタム ファイルを作成する必要があります。削除トランザクションには、このファイルしか使用しないでください。このカスタム削除ファイルには、ヘッダーを指定する必要がありません。名前、説明、電話番号の値を入力します。

### 手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話の削除 (Delete Phones)] > [カスタムファイル (Custom File)] の順に選択します。  
[電話の削除 (カスタム) (Delete Phones Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [削除対象: 電話、検索条件:(Delete Phones where)] ドロップダウン リスト ボックスで、作成したカスタム ファイルのタイプを次のいずれかの条件から選択します。
  - [デバイス名 (Device Name)]
  - [電話番号 (Directory Number)]
  - [説明 (Description)]
- ステップ 3** カスタム ファイルのリストで、この削除用のカスタム ファイルのファイル名を選択します。
- ステップ 4** [検索 (Find)] をクリックします。検索条件に一致する電話機のリストが表示されます。
- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** 電話機レコードを即座に削除するには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。電話機レコードを後で削除するには、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。
- ステップ 7** [送信 (Submit)] をクリックして、電話機レコードを削除するジョブを作成します。

**ステップ 8** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウを使用します。

ジョブの詳細については、第 79 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、「BAT ログ ファイル」(P.80-3) を参照してください。

#### 追加情報

「関連項目」(P.8-5) を参照してください。

## 未定義の電話番号の削除

電話機レコードを検索するためのクエリーを作成して未定義の電話番号を削除する手順は、次のとおりです。

#### 手順

**ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話の削除 (Delete Phones)] > [未定義の DN の削除 (Delete Unassigned DN)] の順に選択します。

[未定義の電話番号の削除 (Delete Unassigned Directory Numbers)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 最初の [削除 未定義の電話番号の一括処理、検索条件:(Delete Bulk Unassigned Directory Number where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [パターン (Pattern)]
- [説明 (Description)]
- [ルートパーティション (Route Partition)]

2 番目の [未定義の電話番号の一括削除、検索条件 (Delete Bulk Unassigned Directory Number where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [が次の文字列で始まる (begins with)]
- [が次の文字列を含む (contains)]
- [が次の文字列と等しい (is exactly)]
- [が次の文字列で終わる (ends with)]
- [が空である (is empty)]
- [が空ではない (is not empty)]

**ステップ 3** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。

**ステップ 4** [検索 (Find)] をクリックします。

検索された電話機のリストが、次の項目別に表示されます。

- [パターン (Pattern)]
- [説明 (Description)]
- [パーティション (Partition)]



**ヒント** データベースに登録された未定義の電話番号をすべて検索するには、検索テキストを入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

**ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

デフォルトの説明は、「未定義の DN の削除 - クエリ」です。

**ステップ 6** 未定義の電話番号を即座に削除するには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。電話機レコードを後で削除するには、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

**ステップ 7** [送信 (Submit)] をクリックして、電話機レコードを削除するジョブを作成します。



**(注)** ジョブを送信する前に、表示された結果のリスト全体を確認してください。

**ステップ 8** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウを使用します。

ジョブの詳細については、[第 79 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、「[BAT ログ ファイル](#)」(P.80-3) を参照してください。

## 関連項目

- 「クエリーを使用した電話機の削除」(P.8-1)
- 「カスタム ファイルを使用した電話機の削除」(P.8-3)
- 「未定義の電話番号の削除」(P.8-4)

